

けれども、斯く概括的に犍陀羅の爲に結論するのは充分でない。更に地圖で、此の國の西端を見、同様に東端を見れば、マーシャル卿 Sir John Marshall の立派な發掘で示された、かのタクシラ Taxila を以て境とせる事を注意しなければならぬ。此處は、印度と他のアジアとを連絡し、又、佛教の美術及び宗教も、隊商や侵入軍の取つた所の舊道を進んだと考へるのが至當であると思ふ。今、ヒンヅクーシユの物語風な隘路を越え、嶮岨な難關を通つて、やがて梵衍那 Bāmiyan の小谿に達する。こゝに、大きさに於ても數に於ても異常な佛教古跡が「雪峯中」にあるのを見て驚くのである。之を見るのは、頻繁な商路の傍に、餘り硬からず又軟かならざる礫岩の高い崖が偶然にもあつて、彫刻家が始て鑿を當てる事が出来たのである。其の贈與者は疑ひもなくこの谿谷を通つた富商であつた事と思ふ。彼等が此の彪大な絶壁を利用して、こゝに寺を穿ち像を刻ましたので、其の山の不壞なるが如く不滅なる姿を持つて居る。蓋し若しアヂェンターの銘文にして明かに教ふるものならば、之等信徒の造營が眞に永劫のものである事が解る。之等の聖堂聖像の結構には工作